

## 第3回 平成7年度 受賞者

地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

富山県民謡おわら保存会（富山県八尾町）

地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

北上・みちのく芸能まつり実行委員会（岩手県北上市）

地域伝統芸能大賞 支援賞（第3類）：衣装、用具等の製作、人材等の確保に係わる団体又は個人

細川 史子（島根県浜田市）

地域伝統芸能大賞 地域振興賞（第4類）：その他特に顕著な貢献のあったもの

浜田 守太郎（新潟県佐渡市）

### 受賞者 プロフィール

地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

富山県民謡おわら保存会（富山県八尾町）



300年以上の歴史をもつ「越中八尾おわら風の盆」は、三味線と胡弓、太鼓などの音につれ哀調をおびた艶やかな唄声に合わせて、粋な法被姿や編み笠の浴衣姿で、優雅、洗練された踊りを繰り広げる祭りである。この「越中八尾おわら風の盆」は、富山県民謡おわら保存会が主体となって毎年9月1～3日の3日間開催されるが、20万人を超える観光客が訪れており、八尾町さらには富山県の観光、地域商工業の振興に貢献した功績は大きい。

地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

北上・みちのく芸能まつり実行委員会（岩手県北上市）



北上・みちのく芸能まつり実行委員会は、毎年8月7～9日の3日間、北上市で開催される「北上・みちのく芸能まつり」の実施主体である。

この「北上・みちのく芸能まつり」は平成6年度で33回を数え、この地方に伝わる鬼剣舞、鹿踊りなどを中心に内外の伝統芸能約100団体、1900名がその妙技を披露し、訪れる観光客は48万人にも達するまでになっている。

実行委員会を中心に行政と市民が一体となって推進してきたこのまつりは、東北の夏を彩るまつりの一つとして定着してきており、地域の伝統芸能の保存継承と観光、地域商工業の振興に果たしている役割は大きい。

地域伝統芸能大賞 支援賞（第3類）：衣装、用具等の製作、人材等の確保に係わる団体又は個人

細川 史子（島根県浜田市）



細川氏は、石見地方の浜田市を中心に伝わる石見神楽の衣装製作者である。二十歳の時にご主人に師事。以来60年間神楽衣装の製作一筋に専念し、常にデザインや手法の改良と技術の向上、後継者の育成に努められ、今日の絢爛豪華な神楽衣装を完成させるとともに業界の継承と発展に寄与された。このことは、国の内外で大好評を博すまでになった石見神楽の継承、発展に多大の貢献をするとともに地域の観光、商工業の振興に寄与した功績は大きい。

地域伝統芸能大賞 地域振興賞（第4類）：その他特に顕著な貢献のあったもの

浜田 守太郎（新潟県佐渡市）



佐渡文弥人形は、250年ほど前に京から伝わり「文楽の原型」ともいわれ、文弥節にのせて演じられる勇壮、華麗、哀切感ただよう人形芝居で、島民の中で語り継がれてきた。

この佐渡文弥人形芝居の演者である浜田氏は、94歳の現在でも第一線で活躍中であり、17歳で初舞台を経験し、以後約80年に及ぶ実演活動を通して、衰退していた文弥人形の積極的な保存活動、後継者の育成、国内外への公演活動を行い、観光客誘致ひいては「観光の島」佐渡の商工業振興に果たした功績は顕著である。